

平成 30 年 5 月 18 日

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

OSJB ホールディングス株式会社

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、当社の「コーポレートガバナンス基本方針」に基づき、2017 年度における当社取締役会の実効性について分析・評価を行いましたので、以下の通り結果の概要を公表いたします。

### 1. 分析・評価の方法

当社取締役会の実効性に関する調査票を作成、全ての取締役ならびに監査役に配布し回答を得ました。回答の集計結果を取り纏めの上、取締役会において現状の評価結果の検証および課題の共有と今後の対応について議論を行いました。

### 2. 評価項目

取締役会の実効性調査票の大項目(全体では大項目5×中項目5の合計 25 項目)

今回は 3 回目の調査となり、継続して前回との変化を見るため従来同様の内容としましたが、今回より監査役を調査対象に加えました。

- I. 取締役会の役割・責務
- II. 取締役会の構成と取締役、監査役の役割・資質
- III. 社外取締役の役割・資質
- IV. 株主および各ステークホルダーとの適切な協働と対話
- V. 取締役会の審議の活性化

### 3. 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、取締役の経験やバックグラウンド等その構成は多様であることや、社外取締役と監査役との定期的意見交換会や、任意の指名・報酬委員会における社外取締役の代表取締役との協議ならびに執行役員との面談による社外取締役の役割が発揮されていること等、前年からの改善を踏まえ、概ね取締役会の実効性については確保されていることを確認しました。同時に今後も更なる改善を要する事項について活発な議論を行い、以下の点について課題の認識をしました。

- 1) 中長期的に重要な経営課題・戦略に関する議論の一層の充実
- 2) 社外役員に対する事前の議案の理解を深める機会と環境の整備

### 4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、取締役会の実効性の更なる向上を図るため、以下の対応に注力してまいります。

- 1) 取締役会の決議事項の見直しを図り、今後の成長戦略や投資計画等、重要な経営課題における議論に重点を置き、計画的に中期経営計画における戦略のフォローアップと審議の機会を確保し、中長期的な企業価値の最大化を図ります。
- 2) 重要な事案については、取締役会開催前に社外取締役に対し、事案の背景やこれまでの判断のプロセス、論点整理等の情報提供を行い、事前の事案の理解を深め、議論が充実するための環境を整備します。

以上